

■客員研究員研究

東北アジアにおけるジェンダー予算の動向 —日本、韓国、台湾を事例として—

市井 礼奈

(財)アジア女性交流・研究フォーラム 客員研究員



KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN
財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

〔著者紹介〕

市井礼奈 (いちいれいな)

南オーストラリア大学ワークライフ研究所研究員、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター客員研究員

〔主要業績〕

Performance Indicators for Gender Responsive Budgeting: A Case Study of Australian Childcare Programs, 博士論文 (University of South Australia), July, 2007.

“Time Use Indicators as a Tool for Evaluating Childcare Policy and Funding”, *Postgraduate Working Paper Series*, No.2, The Hawke Research Institute, University of South Australia, July 2005.

村松安子 (むらまつやすこ)

東京女子大学名誉教授

〔主要業績〕

『「ジェンダーと開発」論の形成と展開 経済学のジェンダー化の試み』、未来社、2005年。

「評価手法としてのジェンダー予算」、『日本評価研究』、Vol.4、No.1、2004年。

東北アジアにおけるジェンダー予算の動向

—日本、韓国、台湾を事例として—

2009年3月

発行 財団法人アジア女性交流・研究フォーラム
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号
北九州市大手町ビル3F
TEL:093-583-3434 FAX:093-583-5195
E-mail:research@kfaw.or.jp; <http://www.kfaw.or.jp>